

平成27年3月6日

上ノ国町議会議長

若 狭 大四郎 様

氏 名 岩 城 昇



平成26年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成26年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

道内外市場の調査研究

2 政務活動内容

平成26年6月23日～24日

道内市場視察

平成26年7月25日～26日

道外市場視察

3 政務活動成果

6月23日(月)

○室蘭青果市場

(対応者) 渡代表取締役、馬場取締役部長

上ノ国町の生産状況を説明。特にサヤエンドウを中心に、現在は岩手・福島県産を取り扱っており、価格は1,000円～1,200円/kgとなっている。道内産は、伊達が日量5ケース程度の出荷で1,000円/kgとなっている。本年は関東地方で野菜トップクラスの「東一川崎中央青果(株)」の担当者が品質・選別がしっかりした産地を探していた経過にあり、室蘭から川崎青果へ転送しながら単価を維持させていきたい。また、室蘭近郊の量販店でもしっかり販売していきたいとのこと。

現在、当JAは秀品での販売となっているが、時期により無印での販売となっていることを説明し了承する。品質向上に努める。

○苫小牧中央青果市場

(対応者) 河村課長

上ノ国の生産状況を説明。サヤエンドウを中心に、現在は室蘭同様、上ノ国産が出荷されてないため、岩手産を取り扱っており、1,000円/kgの売値となっている。道内産では、近郊の個人品が日量5ケース程度であり、1,000円～1,100円/kgとなっている。本年は青果物が全般的に安く、荷動きは鈍い状況。上ノ国のサヤエンドウをメインで使用している量販店もあるため、少量での販売となってしまいが、引き続き出荷をお願いしま

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙2

すとの要望でした。上ノ国産では少量でも対応する。

6月24日(火)

○丸果札幌青果

(対応者) 奥部長、鈴木課長代理、佐藤係長

午前7時より、場内セリ始まる。各野菜視察。場内サヤ売場では、当地区と札幌近郊の個人出荷のみ上場されておりました。例年は七飯、石狩も出荷されている状況となっているが、6月13日の強風により花落ち、茎折れ等の被害が見られ、ほぼ壊滅状態となっている。他産地の個人出荷は、秀品で2,000円～2,500円/kg、優品は1,600円～2,000円/kgとなっており、当地は30ケースが3,000円/kgとなっておりました。

スナップは若松・北檜山で20ケース程度の出荷、富良野は個人出荷30ケース程度が上場されておりました。単価は、富良野の個人出荷が秀品1,500円/kg、若松・北檜山は秀L規格で1,500円～2,000円/kgとなっておりました。当地区は5ケースが2,000円/kgとなっておりました。

競合産地では、岩手県が6月中旬より出荷スタートとなっているが、出荷量は激減している状況。石狩は個人出荷が多く始まっている。本格的に共選スタートは7月上旬頃となる見込み。

当地区のサヤは道内でも1、2の品質との評価をいただき、今後も品質を維持した出荷をお願いしますとのことでした。

○札幌ホクレン青果

(対応者) 木下副部長、近藤課長、郡担当

現在は当地区と札幌近郊の個人出荷を扱っている状況。単価は丸果札幌と同様。例年、丸果の単価を基準にしているため、丸果に負けない単価で販売してほしいと要請しました。他産地は、石狩の個人出荷は6月25日頃より開始。共選については7月上旬頃よりスタートとなる見込み。下川も近々出荷されると思われる。ホクレン青果は、本年度の上ノ国産のニラはほとんど販売され、お礼もした。

○樽一小樽中央青果

(対応者) 青山代表取締役社長、竹内次長

現在はサヤの入荷数量が例年より少ない状態。観光客も年々減少しており、居酒屋、食堂でも扱う量が減少しているため、数量はあまり扱えない

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙2

が、その分は単価でカバーできるように販売していきたいとのこと。

※まとめ

各市場とも、上ノ国産のサヤエンドウを重要品目と評価しており、今後サヤ、スナップエンドウについても生産を増やしていただきたいとのことでしたので、なお一層の品質、規格を維持した出荷を心掛けるので、少しでも高値で取引していただきたいと要望もした。

7月25日（金）

○名果株式会社

（対応者）林常務取締役、石原部長、藤田考査役

上ノ国町の本年度作付面積、生産者戸数、現在の作況状況の説明。

市場担当者より、現在は石狩・長野・青森のサヤエンドウを扱っている。

当地区のサヤエンドウは出荷数量が安定しているため、大手企業の「株式会社バロー」への納品がメインとなっている。

豆類は、先売りしないと売りづらいため、仲卸との値決めを取り入れた中での契約販売をしている。他産地では、出荷量が不安定となっているため売りづらく、長野産で1,000円/kg程度、青森産で1,100円/kg程度となっている。視察当日の当地区の販売は、秀A品で平均1,300円/kgとなっている。石狩では販売担当者が代わり、本年度は5ケース前後で出荷し、高単価での販売を要望しているとのこと。

市場側としては、安定供給していただける産地を大事にしたい。例年、お盆前後の出荷量が減少するため、出来る限り日量100ケース前後での出荷をお願いしますと要望される。当地区は出荷量の増減があまりなく、安定している当地を大事に販売していきたいとのこと。

スナップエンドウは、鹿児島・四国・長野・石狩がサヤエンドウからスナップエンドウへ移行しているとのこと、スナップエンドウは居酒屋への納品が多く、人気商品となっている。

今年、当地区ではハウス栽培を行っており、鹿児島・岩手が終了する時期に出荷したため、比較的高値での販売ができたとのこと。今後もハウス栽培で6月上旬～中旬頃に出荷していただきたいと要望される。7月の販売は苦戦したが、低迷期は過ぎたと思う。今後はしっかりと販売していきたいとのことでした。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

（例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など）

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙2

7月26日(土)

○東京新宿ベジフル(株)

(対応者) 小島常務取締役、斉藤執行役員、森高課長

当方より、本年度作付面積、生産者戸数の状況など報告する。

職員担当者の紹介。本年より森高氏がサヤ(豆類)の担当となる。

現在は、石狩・青森・岩手のサヤエンドウを扱っている。来月頃より、大正・ようてい農協の出荷が始まる予定。当地区のサヤエンドウは品質が良く、ホテル・料亭等への契約販売を行っている。多少豆が入り過ぎているものも見られるが、あまり問題ないとのこと。現在は日中の気温も高いため、生育が進み、豆が入りすぎる場合もあることを説明する。当地同様、他の産地でも高齢化により、生産者が減少している。サヤエンドウは需要があるため、安定供給をお願いしますと要望された。

スナップエンドウについては、青森・石狩が出荷されている状況。品質についてはガク枯れ、スリップス等が見られ、あまり良くない状態となっているとのこと。当地区の品質については、ガク枯れ等もなく問題ないとのこと。人気が高く需要が伸びているが、単価については、現状1,000円/kg前後と厳しい販売となっている。豆類全般の荷動きが鈍い状況であるが、来月より販売情勢は右肩上がりの見込みである。

※まとめ

各市場の情勢も変わって、ほとんどが仲卸市場から直接大手スーパーとの契約販売方式へと変わってきた。単価も相対方式となっている。少子高齢化の影響で人口減少となり、すべて生産も減り、価格競争時代となることから、品質向上に最善の努力が必要と思います。時代の移り変わりに合った野菜作りに万全を。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。